

函館市監査公表第37号

函館市長から、包括外部監査の結果に基づき措置を講じた旨の通知があったので、当該通知（写）を地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の38第6項の規定により、別紙のとおり公表する。

平成30年9月28日

函館市監査委員 山 田 潤 一

函館市監査委員 植 松 直

函館市監査委員 斉 藤 明 男

函館市監査委員 松 宮 健 治

函 企 画

平成30年9月13日

函館市監査委員 様

函館市長 工藤 壽樹



平成29年度包括外部監査の結果に基づく措置の通知について
平成30年3月29日に報告を受けた包括外部監査の結果に基づき、
または当該監査の結果を参考として講じた措置について、地方自治法第
252条の38第6項の規定により、別紙のとおり通知いたします。

平成29年度包括外部監査の結果に基づく措置
 (特定の事件名 函館市の空き地・空き家対策事業について)

2 意見

監査対象 部局等	意見の概要	報告書 ページ	措置の内容
企画部 計画推進室 計画調整課 教育委員会 生涯学習部 市立函館 博物館	<p>西部地区の活性化のために旧市立函館病院跡地について</p> <p>総合博物館を旧市立函館病院跡地に建設する構想があるが、多額の建築費をかけて大きな建物を建てても、その費用に見合うだけの効果が望めない場合、その構想は見直してもよいのではないか。</p> <p>また、当該跡地の活用方法としては、例えば多くの利用客が見込まれる物産館と飲食施設を併設した建物を建設するなど零から見直して検討してはどうか。</p>	117	<p>旧市立函館病院跡地につきましては、平成12年度に策定された「市立函館病院跡地利用の基本方針」の中で、総合博物館などの施設整備の検討をしておりますが、当面の間は、財政状況が厳しいこともあり、暫定的な措置として芝生広場および観光駐車場を整備して利用するとされており、現在は、この方針に従い芝生広場および観光駐車場として活用しております。</p> <p>今後につきましては、西部地区の再生を目指す中で、当面の現況維持を含め、利用の方法について、改めて検討していく必要があると考えております。</p>

平成29年度包括外部監査の結果に基づく措置
 (特定の事件名 函館市の空き地・空き家対策事業について)

3 提言

監査対象 部局等	提言の概要	報告書 ページ	措置の内容
企画部 計画推進室 政策推進課	<p>空家問題の解消に向けた検討 コンパクトシティの事例検討について</p> <p>① コンパクトシティの推進に関わって、函館市から新函館北斗駅に至る交通手段について、既存の交通機関に加えて、ライドシェア（相乗り）などの新型交通機関による交通網を検討・分析し、新幹線の発着時刻との接続において利便性を高めるよう、より深い検討を加えるべきである。この場合、はこだて未来大学等の研究・教育機関との連携は有効と思われる。</p> <p>③ 富山市の事例から、公共交通機関を整備することの重要性を汲み取ることができる。交通ネットワークがしっかりしていなければ、どのような都市計画も絵に描いた餅である。</p>	88	<p>① 本市から新函館北斗駅に至る交通手段については、新幹線の発着を考慮し、北海道旅客鉄道によるはこだてライナーのほか、路線バスおよび定額タクシーが運行されており、二次交通の充実が図られているところであります。</p> <p>ライドシェアについては、安全性の確保等の観点から課題があり、現在のところ、導入を検討するものではないが、今後、状況に適応したその他の新型交通機関によるさらなる利便性の向上について、検討してまいりたいと考えております。</p> <p>③ 本市では、持続可能な公共交通網の構築をめざして策定した「函館市地域公共交通網形成計画」に基づく取り組みを進めているところであり、今後とも、まちづくりと一体となった交通ネットワークの構築に努めてまいりたいと考えております。</p>
企画部 計画推進室 政策推進課 企業局 交通部 事業課	<p>空家問題の解消に向けた検討 コンパクトシティの事例検討について</p> <p>市内交通の要として路面電車を活用し、これから分岐するバス路線を充実させるべきであろう。路面電車の路線を伸ばすことなども考えられているのではないかと。不動産取引においては、学校、病院やスーパーマーケットなどへの接近性が重視される。西部地区および中央部地区においても、施設への接近性が好転すれば住民が流入する可能性は高いので、比較的近距离の交通機関が整備されることが必要であろう。</p>	89	<p>路面電車の延伸については、線路用地の確保や線路の敷設などに多額の経費を要するほか、将来にわたる需要予測や他の公共交通機関に与える影響など、市内の公共交通網全体の計画として慎重に検討しなければならないと、現時点での実施は難しいと考えております。</p> <p>本市では、持続可能な公共交通の構築を目指して、平成27年度に「函館市地域公共交通網形成計画」を策定し、バス路線網の再編等の施策を推進しております。</p> <p>この一環として、市電と路線バスとの連携を強化するため、平成29年3月には市電・路線バス共通のICカードシステム「イカオニモカ」を導入し、乗継割引の対象が拡充されるなど、連携の強化が図られたところであります。</p> <p>今後とも、交通機関相互の連携強化を推進し、利用者の利便性向上に努めてまいりたいと考えております。</p>

平成29年度包括外部監査の結果に基づく措置
 (特定の事件名 函館市の空き地・空き家対策事業について)

3 提言

監査対象 部局等	提言の概要	報告書 ページ	措置の内容
企画部 計画推進室 政策推進課 都市建設部 都市計画課	<p>空家問題の解消に向けた検討 コンパクトシティの事例検討について</p> <p>米国の企業であるウーバーが展開しているようなライドシェア（相乗り）の発想を行政としても取り入れ、積極的に活用すべきではないか。現在、函館市では立地適正化計画を策定中であり、当該計画の中で効率的な交通ネットワークの構築がうたわれている。以上述べたような事項が具体化されることを期待したい。</p>	89	<p>国土交通省においては、運行管理や車両整備等について責任を負う主体を置かないまま、自家用車のドライバーのみが運送責任を負う形態の旅客運送を有償で行うことは、安全の確保、利用者保護等の観点から問題であり、極めて慎重な検討が必要であるとしていることから、本市としても国の動向を注視してまいりたいと考えております。</p>
企画部 計画推進室 計画調整課 土木部 公園河川 管理課	<p>西部地区の活性化のために</p> <p>函館公園、元町教会群、元町公園等の各観光施設を結ぶ直線の両端である、函館公園のリニューアルおよび旧市立函館病院跡地への物産館と飲食施設を併設した建物が整備されれば、西部地区の魅力向上が図られるのではないかと考えます。</p>	119	<p>函館公園のリニューアルおよび旧函館病院跡地への物産館と飲食施設を併設した建物の整備に関わる提言につきましては、前出での回答のとおりですが、今後、西部地区の魅力向上が図られるよう改めて検討してまいりたいと考えております。</p>